

昭和50年(1975)ごろの様子

情報提供： 伊藤 浩

ふる もくぞう こうしゃ おも で 古い木造校舎の思い出

とうじ うえ うんどうじょう した うんどうじょう
当時は上の運動場と下の運動場がありました。

した うんどうじょう お しょくいんしつがわ はらたまだい あと のこ
下の運動場に降りる職員室側に祓魂台の跡が残っ

ていて、左の写真のように台の

うえ まわ あそ うえ
上や周りで遊んでいました。上

うんどうじょう ようちえん
の運動場の幼稚園(このころは

ひがしのようちえん しょうがっこうこうしゃ あいだ
東野幼稚園)と小学校校舎の間

なかにわ おお ぎんなん き
の中庭に大きな銀杏の木があっ

て、秋になると紅葉がきれいだし

た。銀杏の葉っぱをつかってウサ

ぎを作っていました。



あたらし こうしゃ た ふる こうしゃ べんきょう 新しい校舎を建てながら古い校舎で勉強

ねんせい きょうしつ
4・5・6年生の教室があった

こうしゃ こわ あたらし こうしゃ た
校舎を壊して、新しい校舎を建て

るとき こうがくねん こ としょかん
る時は高学年の子たちは図書館や

かていかしつ きょうしつ じゆぎょう
家庭科室を教室にして授業を

おこな ひがしのしょうがっこう
行っていました。東野小学校は

たても みつ わ ふる
建物が三つに分かれていたので、古

こうしゃ かつよう あたらし こうしゃ
い校舎を活用しながら新しい校舎

を建てました。



おや たけうま つく がっこう あそ
親に竹馬を作ってもらって学校で遊んだ
そとあそび かっぱつ
り、外遊びが活発でした。



昭和51年 卒業生

建設中の新校舎と木造の古い校舎



昭和54年(1979)の噴火する御岳山

しょうわ ねん おんたけさん ふんか
昭和54年(1979)御岳山噴火

ひがしのじゅうみんうんどうかい さいちゅう おんたけさん ふんか み きおく
東野住民運動会 の 最中 に御岳山の噴火を見た記憶があります。

じょうほう ていきょう いとう きおく おんたけさんふんか
情報 を 提供 していただいた伊藤さんの記憶から御岳山噴火の
きろく しら おんたけさん しょうわ ねん がつ にち にちようび ふんか
記録を調べると御岳山は昭和54年10月28日(日曜日)に噴火し
みなみしゃめん ひがしの み ほうこう すいじょうきふんか
ています。南斜面ですから東野から見える方向から水蒸気噴火が
はじ かこうふきん かざんばい やく つ ひがしの
始まり、火口付近では火山灰が約50cmも積もったそうです。東野

こうかい かんそく せんたくもの かざんばい はなし きき ひ ひがしの しら いとう
でも降灰が観測され、洗濯物に火山灰がついたという話を聞きました。この日の東野のことを調べると伊藤
きおくとお じゅうみんうんどうかい おこな
さんの記憶通り住民運動会を行っています。



昭和52年 卒業生



昭和54年の授業の様子



昭和53年 卒業生



昭和54年 卒業生



昭和52年の大雪